

2018年の活動スケジュール(予定)

4月～7月 予備調査

事前研修を通して東北に関する知識を深める
例) 東北に関するブックレポート

8月～9月 本調査(フィールドワーク)

東北に出向き、2泊3日を通して、東北の魅力や東北との
つながりを見出す

11月 ソフィア祭で出店予定

甲子柿を使った甘酒スムージーを販売予定

12月 再調査

再び、8月～9月で得た経験をもとに、異なる視点で
東北を見つめなおす

2018年の活動と一緒にしてくれる方を募集しています！

興味のある方はグローバル・コンサーン研究所までご一報ください！



michinoku.renaissance
@gmail.com

まで、ご連絡下さい！



みちのく Renaissance! 2017 活動紹介パンフレット

発行年：2018年2月

発行所：上智大学グローバル・コンサーン研究所
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
上智大学中央図書館 L-713 号室

デザイン協力：フジタヒロミ(ビュンワークス)

みちのく

Renaissance!

2017

東北のイチブトゼンブ

～ 海の幸、山の幸、人の幸、ここにあり!～



活動紹介パンフレット

みちのく Renaissance! とは・・・

「みちのく Renaissance!」は、2012 年、上智大学の学生が中心となり、グローバル・コンサーン研究所主催の企画として発足しました。

「東北を五感で知る!」ことから、フィールドワークを通じて東北地域の魅力を感じ、東日本大震災からの復興の現状を学ぶとともに、自分たちにできることを考え、活動しています。

2016 年に岩手県の釜石を訪問した際、現地の人々のつながりや、2019 年ラグビー W 杯開催に向けてのスタジアム建設など、高まっている復興の機運に惹かれたため 2017 年も釜石を訪問しました。

今回の訪問で、釜石の特産品である甲子柿の魅力も知ることができ、来年度のソフィア祭では甲子柿の加工品を販売することにしました! 釜石の魅力を多くの人に伝えることを目標としています!



Renaissance / ルネッサンス

中世ルネッサンスのように、東北の復興も、ただ元に戻す・復旧するのではなく、地元本来の風土や文化を再発見して活かしながら、さらに発展したもの・革新的なものを生み出すことに貢献したい!! という思いを込めて、活動名を「みちのく Renaissance!」と名付けました。



2017 釜石

目標

- ① 釜石、大槌の現状を知る
- ② 被災した人との関わり方を学ぶ
- ③ 釜石を現地の人と一緒に盛り上げる

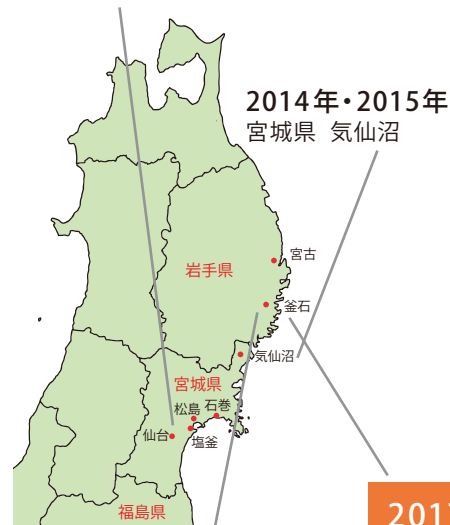
行程

- 9月18日(月) 釜石市内の創作農家レストランこすもす訪問、民泊体験
- 9月19日(火) 釜石大観音観光、大槌町語り部ツアー参加、鶴住居を歩く
- 9月20日(水) 釜石魚市場見学、岩手大学釜石サテライト、釜石市役所訪問

これまでの訪問地

2013年

宮城県 仙台・石巻・松島・塩釜



2016年

岩手県 宮古・釜石
宮城県 気仙沼

2017年
そして再び釜石へ!!

活動メンバー

磯辺しの (文学部フランス文学科 1 年)
伊藤光軌 (総合人間科学部看護学科 2 年)
久保田弘輝 (文学部新聞学科 2 年)
竹淵航章 (法学部法律学科 2 年)
宇野永里子 (理工学部物質生命理工学科 3 年)
三寺遥 (外国語学部ポルトガル語学科 4 年)
今成鈴香 (グローバル・コンサーン研究所職員)
堀越耀介 (グローバル・コンサーン研究所職員)
田村梨花 (グローバル・コンサーン研究所員・外国語学部ポルトガル語学科教員)



宮沢賢治童話村に到着！

1日目。台風18号の影響でJR釜石線が運休になったため、運行再開までの時間を使って新幹線からの乗換地点であった花巻市で急遽観光をしました。宮沢賢治の童話村で、参加メンバーの交流を深めつつ、花巻市の魅力に触れました！



オブジェと同じポーズ！

1日目

創作農家こすもす

創作農家こすもすには、地域の食材を使ったおいしい料理が食べられる「レストランこすもす」と、手作りの遊具で遊ぶことのできる「こすもす公園」があります。目の前に広がるコスモス畑は秋には満開になり、とても鮮やかです！

オーナーの藤井さん夫妻は、地元の特産品である甲子柿(かつしがき)のPRをされています。レストランで買うことのできる「甲子柿ドレッシング」は柿の甘みが出ていて絶品です！

すべり台、楽しい！！



民泊

釜石市 A&F グリーン・ツーリズム実行委員会にご紹介いただいた3軒のお宅に、分かれて泊まりました。

佐野さん：

柿農家のお宅で、たくさん甲子柿について教えていただきました。お母様と息子さん夫婦と赤ちゃんがいたので、一緒に赤ちゃんとおんだり、すいとんを作ったりしました。お客様として迎え入れられたのではなく、ご家族の日常生活を体験することができました。



藤井さん：

創作農家こすもすのオーナー藤井さんのお宅では、夕食にピザ作りを体験したり、夜は机を囲んでお話をしたりと、ご夫妻の暖かさを感じながら、とても楽しいひと時を過ごしました。ちなみに、藤井さんのお宅に泊まると大成するという験担ぎもあるんだとか！？

岩間さん：

美容室を営む岩間さんご夫婦のお宅。地元の産物を使った愛情たっぷりの美味しい料理と、美容という仕事とともに会話やつながりを大切にする姿に感銘を受けました。





釜石大観音

朝一番に観光で釜石大観音を訪れました。観音様の像の内部には階段があって登っていくと、上から釜石市と海を一望することができました！



2 日目

大槌町語り部ツアー

午後は大槌町に移動し、語り部ツアーに参加しました。街を歩きながら震災当時の状況や大槌町についてのお話をききました。案内してくださった町内会長さんが、「避難道を整備することが一番重要だと思う」とおっしゃっていたことが印象的でした。



いざ、
ひょうたん島へ！



大槌にはあの有名なひょうこりひょうたん島のモデルになった島もあります。

うのすまい 鵜住居を歩く

ラグビーワールドカップ

2019年に開催されるラグビーW杯に向けて、「釜石鵜住居復興スタジアム」(仮)が建設されています。街にはラグビーカフェがあり、情報発信の拠点となっています。行政と市民の垣根を越えた協力も見受けられ、今後どのようにプロモーションしていくのか楽しみです！！



ラグビーカフェ

新日鉄ラグビーチームがあったことから、釜石は「ラグビーの街」と言われています！！



鵜住居スタジアム

すでに工事が始まっていた。



宝来館の避難道

宝来館の裏山の避難道を見学しました。＜絆の道＞と名付けられた避難道は、車いすの方でも移動ができるようになっていました。バリアフリーも考慮した取り組みが多くの命を救うことにつながります。



実際に登ってみました。車椅子の人のみならず、足腰が弱い方でも簡単に登れるように考えられていたので、楽々と上まで到達することができました！もっとこうした避難道が他の地域でも作られることを願っております。

根浜海岸



まるで深海が広がったような絶景ポイントでした！あまりにも景色が綺麗過ぎて、みんなで釜石ポーズの写真を撮ることを撮りました！（10ページを見てね！）

ミッフィーカフェ

釜石情報交流センター内にある「ミッフィーカフェ」に行ってみました。至る所にミッフィーの人形が置いてあって、小さな子供から大人まで楽しめるカフェでした！ミッフィーとの時間を堪能し、センター内のミーティングルームで釜石で感じたことを共有しました。



釜石限定のミッフィーの人形を購入することができました。今でもお気に入りになり飾ってあります！

3日目

釜石魚市場

早朝、魚市場にでかけ、現地でしか取れない魚の引き揚げやセリの様子を実際に見ることができました。



釜石市役所の方々が説明しながら案内してくださいました。魚市場を通して、こういった取り組みをして釜石に活気を与えるか、などを学ぶことができました。

岩手大学釜石サテライト

岩手大学釜石サテライトは、産学官連携で三陸沿岸の復興支援の取り組みを行うために、岩手大学が現地拠点として設置したものです。釜石地域再生に尽力する佐々木誠教授を訪ね「ケアとは何か」のお話を伺いました。臨床心理士でもある佐々木教授は、私たちにも心から向き合ってくださいました！

一方的な押しつけではなく信頼関係を築いた上で関わりを大切にすることや、個々の状況に応じた柔軟性を持つこと、何かをしようと思ったのなら自分のできることを明確にしてから行動することの大切さを学びました。発信を実行に移し続けることが私たちにできることであり課題でもあります。

ここ釜石サテライトは「ケア」だけでなく、自然環境（海）についても学ぶことができるそうです！

釜石市役所

観光課

「釜石大観音」や世界遺産に登録された「橋野高炉跡」などの観光名所をPRするだけではなく、グリーン・ツーリズムなどの体験型のイベントを推進し、釜石のポテンシャルを活かした魅力発信を行っています。情報発信については関東圏の学生にも協力できることがあるので、来年度の訪問ではその点も掘り下げていきたいと思います！！



釜石の魅力を体感できるイベントが多い印象です。都会では得られないものが必ずあるはず！！



防災課

東日本大震災当時の状況や対応についてと、今後の対策についてお話しいただきました。聞いていると、悲惨な状況が蘇るようで、改めて被害の大きさを感じました。今後の対策では、体験したからこそわかったという、非常時に必要なものや、とるべき行動を教えてくださいました。

特に用意した方が良いもの

- ・おくすり手帳
- ・乳幼児の食べ物



意外でしたが確かに必要なものです！皆様も是非ご用意ください（＾Ｏ＾）

懐かしい活動が2つあり、
 知り合いかいふのとは知り合い
 にはあて、とて貴重な体験
 とおっしゃる！ 多くのバングラ
 ダのわが子に2つ
 感謝の

考え方を会得した変遷の定感
訪問地、メンバーも含め、人
人のつながりの温かみ
感じられた。Renaissance、
忘れたくない。忘れない!!
伊藤 光典

様々な立場の人からの復興へのアプローチを見て、また、人のつながりをあらためて感じられた「ソア」でした。いっかお、釜石大港に行きます!!

ス保田 弘輝



行く直前まで「台風等
トラブルがあり不安ではが
ん、食事、自然、全て行って
初めて魅力を発見できました。
また行きたいです!!

宇野 永里子

3日間を過ごして様々
なことを学ばせて頂きました！
金石の奥の奥であつた、現
在の人々から大震災の当時
の状況と教へて下さり、東
大のついでに、と理学部を深
めて学びたいと思ひます！おは
い！と云ふ、さうでした！！
三手 達

景色キレイだし
料理ウマイレ
最高でした!!
このメンバーで行けばよかった
色々利がとう!!
竹沢



「創作農家こすもす」さんのこすもす公園



洋食あべのオーナー 阿部亀壽三さんと

ツアーからの学び

今年のフィールドワークも、実際に東北に足を運び、現地の人々と直接話したからこそ得られる気付きがたくさんありました。きっとそれは、その場所で、その人から、その話を聞かなければわからなかったものだと思います。

来年度は、ソフィア祭での甲子柿の加工品販売を主な活動目標としますが、参加者自身も東北の魅力を堪能できるようにフィールドワークを実施する予定です。

「みちのく Renaissance!」に関わってくださる全ての方に感謝するとともに、引き続き応援していただけますようよろしくお願いします!!

私たちに出来ること

- ・情報発信
- ・また足を運ぶこと
- ・地域・人びととの
つながり方を考えること

この地で生まれ、暮る
 可人。暮らしを始めた人。
 この地で死ねたが、たき
 葬と出逢った人。ニラ
 玉、石の「つばき」
 人ロ」が、こゝろをこゝろ
 ありに!!

田科 祥花



楽しく学び、たくさんの方
「もっと知りたい!」が
生まれた三日間でした。
訪れたまちや人びとと
今更けのように関わり
ていくか、これからを
考えたいです。
今成金齋(国)

今成金壹圓

一言に“復興”といっても、そ
に何様な層があると、
そしてそれは、細やかな人間
関係の網の目に、そして為
まわると感じました。堀越

グローバル・コンサーン研究所の
スタッフも一言・・・！！